

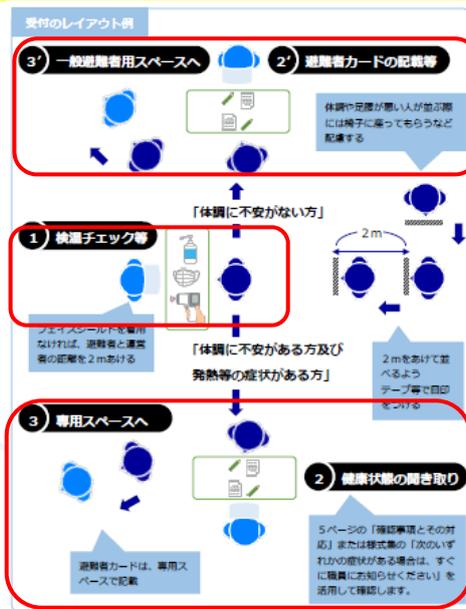
(設問1)



1. 拠点に来る避難者の属性を知ろう

- 陽性者(基本的には、拠点に避難しないよう横浜市が事前に調整)
- 濃厚接触者
- 発熱等の症状がある方
- 体調に不安のない方

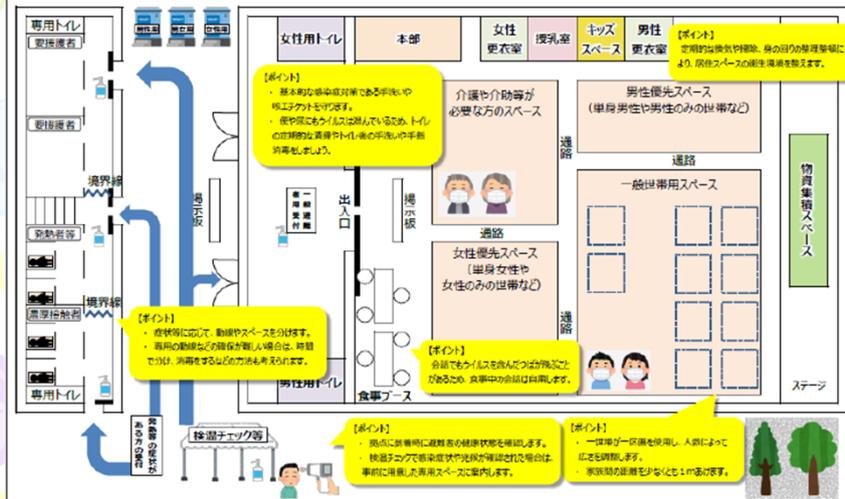
(設問1)



(設問2)

地域防災拠点のレイアウト例

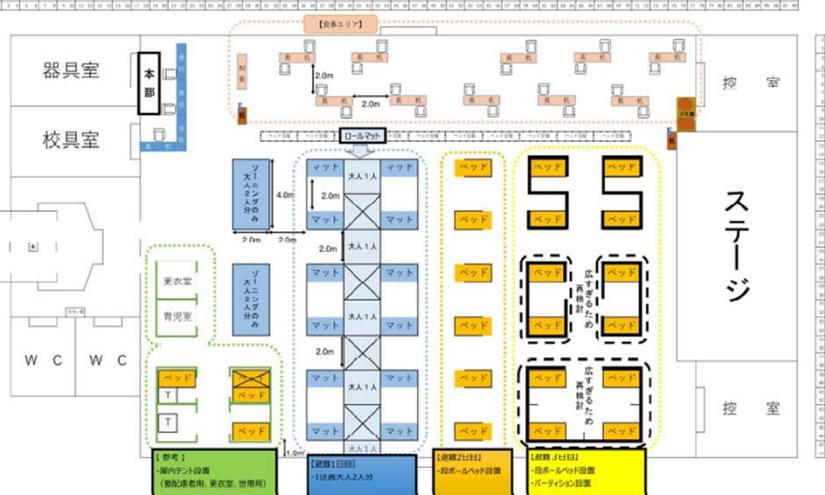
新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえると、災害が発生し避難所を開設する場合には、感染症対策に万全を期すことが重要となります。
 発生直後は混乱しており、すべてに対応することは難しい場合もあるため、**できる範囲から取り組みを進めましょう。**



(設問2)

出典) 避難所での感染症対策検証結果 北海道総務部危機対策部危機対策課

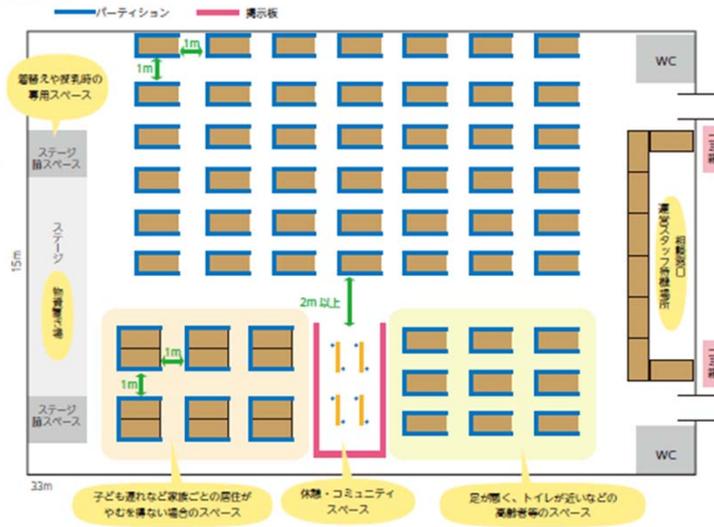
3-2 検証状況【体育館 配置図】



(設問2) 出典)新型コロナウイルスお役立ち

サポートガイド

体育館レイアウト(例)



※縦 33m×横 15mの標準的な小学校の体育館をモデルにしています



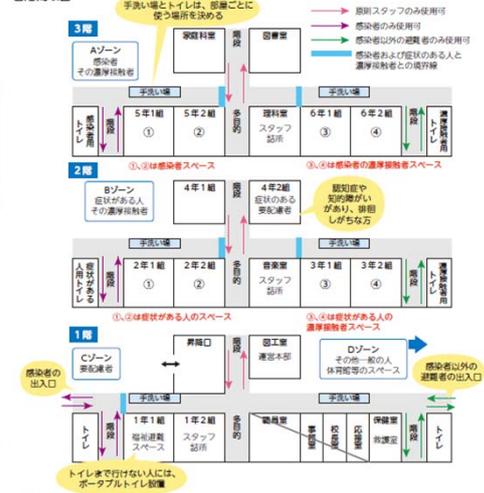
(設問3) 出典) 新型コロナウイルスお役立ち サポートガイド

ゾーニングレイアウト (例)

※「感染者」はできるだけ早く、医療機関や宿泊療養施設（ホテル・旅館等）などに移送するため、一時的な滞在となります。

ABゾーンの対象者は、医療機関等への移送が大原則です。下記の図は、あくまでも大規模災害時のやむを得ない場合のゾーン分けの参考例です。

各階間取り図



(設問3) 出典) 新型コロナウイルスお役立ち サポートガイド

居住区分 (ゾーニング) の目安表

ゾーン	状態	判断基準 (健康チェックリストの項目)	対応
A	感染者 その濃厚接触者	感染に関する項目の1~2でいずれかにチェックがついた人	※医療機関につなぐか、できるだけ早く個室が確保できる宿泊療養施設（ホテル、旅館等）などへ移動できるように支援依頼をする。 ※暫定的に専用の部屋を準備し、案内する。
B	症状がある人	感染に関する項目の3~10で一つでもチェックがついた人、または、症状がある人の家族など濃厚接触者	※症状がある人の家族で無症状の人は、感染している可能性と、感染していない可能性とがあるため、Bの区分の場所とするが、症状のある家族と隔離を行うようにする。 ※個室が確保できるホテルや旅館などへ移動できるように支援依頼をする。 ※暫定的に専用の部屋を準備し、案内する。
C	要配慮者 (上記A・Bに該当しない人)	要配慮に関する項目の11~13で一つでもチェックがついた人	※福祉避難所などへ移動できるように支援依頼をする。 ※暫定的に専用の部屋、または一般の避難スペースに、福祉避難スペースを準備し、案内する。
D	その他一般の人	持病や体弱変化の14~15の一つでもチェックがついた人、または、何もチェックがなかった人	※一般の避難スペースへ案内する。 ※14~15にチェックが入った場合には、体弱の変化を気にかける。

8